

検査技術学科 教育課程

【平成25年度】

区分	授業科目	単位数		年間コマ数	履修方法及び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年		担当者	単位認定者
		必修	選択			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目目録	生命倫理と心理	1	心理学	2	2	15		15						榎本 光邦	榎本 光邦
		2	生命倫理	2		15		15						磯部 太一	磯部 太一
		3	教育学		2	15		15						横井 利男	横井 利男
		4	教育情報論		2	15		15						西谷 泉	西谷 泉
		5	教育心理学		2	15		15						原 芳典	原 芳典
	言語と文化	6	英語Ⅰ	1		15		15						杉田 雅子	杉田 雅子
		7	英語Ⅱ	1		15		15						杉田 雅子	杉田 雅子
		8	英語表現		1	15		15						杉田 雅子	杉田 雅子
			ステップアップ英語Ⅰ		1	15			15					柴山森二郎	柴山森二郎
			ステップアップ英語Ⅱ		1	15			15					柴山森二郎	柴山森二郎
			英文講読Ⅰ	1		15				15				杉田 雅子	杉田 雅子
			英文講読Ⅱ		1	15					15			杉田 雅子	杉田 雅子
		9	中国語		1	15		15						深町 悦子	深町 悦子
	社会と生活	10	コリア語		1	15		15						青木 順	青木 順
		11	家族学		1	15		15						内藤 和美	内藤 和美
		12	情報処理		1	15		15						西谷 泉	西谷 泉
		13	法学（日本国憲法含む）		2	15		15						斎藤 周	斎藤 周
		14	環境学		2	15		15						西菌 大実	西菌 大実
		15	ジェンダー論		2	15		15						内藤 和美	内藤 和美
		16	地域社会学		2	15		15						坂本 祐子	坂本 祐子
		17	ボランティア活動論		1	15		15						竹澤 泰子	竹澤 泰子
		18	経済学		2	15		15						飯島 正義	飯島 正義
		19	健康スポーツ理論		2	15		15						衣川 隆	衣川 隆
	基礎教育	20	健康スポーツ実技		1	15		15						衣川 隆	衣川 隆
		21	大学の学び入門	1		15		15						杉田・浅見・榎本	杉田 雅子
		22	教養ゼミナール	1		15		15						藤田・亀子・小河原・浅見・川口・高橋(祝)・石垣・佐藤	藤田 清貴
23		生物学基礎	1		15		15						佐藤久美子	佐藤久美子	
24		数学基礎	1		7.5		7.5						栗田 昌裕	栗田 昌裕	
25		化学基礎	1		7.5		7.5						西菌 大実	西菌 大実	
26		英語基礎	1		7.5		7.5						柴山森二郎	柴山森二郎	
計（卒業要件）					23										
専門基礎科目目録	人体の構造と機能	27	解剖学Ⅰ	2		30		30						浅見知市郎	浅見知市郎
		28	解剖学Ⅱ	1		7.5		7.5						浅見知市郎	浅見知市郎
			解剖学実習	1		22.5			15	7.5				小林 寛	小林 寛
		29	生理学Ⅰ	1		15		15						洞口 貴弘	洞口 貴弘
		30	生理学Ⅱ	1		15		15						洞口 貴弘	洞口 貴弘
	健康と医療と社会		生理学実習	1		22.5			22.5					洞口 貴弘	洞口 貴弘
		31	生化学	1		15		15						亀子 光明	亀子 光明
		32	医学概論	2		15		15						藤田 清貴	藤田 清貴
			チーム医療論	1		15			15					藤田・小河原・亀子・伊藤・木村	藤田 清貴
		33	病理学	1		15		15						塩崎 秀一	塩崎 秀一
			薬理学	1		15			15					栗田 昌裕	栗田 昌裕
		34	公衆衛生学	1		7.5		7.5						石館 敬三	石館 敬三
			臨床医学特殊講義		1	15				15				小林功・正田・下村	小林 功
			内科学		1	15				15				栗田 昌裕	栗田 昌裕
			老年医学		1	7.5				7.5				栗田 昌裕	栗田 昌裕
		35	遺伝と病気	2		15		15						川口 竜二	川口 竜二
		36	免疫学	1		15		15						藤田 清貴	藤田 清貴
			カウンセリング		1	15				15				森 慶輔	森 慶輔
		37	リハビリテーション概論		1	15		15						松澤 正	松澤 正
		38	臨床心理学		1	15		15						森 慶輔	森 慶輔
	安全管理		1	15						15		酒井美絵子	酒井美絵子		
	生体計測工学		1	15					15			目黒 力	目黒 力		
39	国際医療協力論		1	15		15						辻村 弘美	辻村 弘美		
	医療統計学		1	15				15				木村 朗	木村 朗		
	社会福祉・地域サービス論		1	15					15			金谷 春代	金谷 春代		
計（卒業要件）					22										

区分	授業科目	単位数		年間 コマ 数	履修方法 及び 卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年		担当者	単位認定者	
		必修	選択			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門科目群	解析検査学 臨床病態 検査学			1	15					15				藤田・小河原・櫻林・ 本田・山田	藤田 清貴	
				1	15					15				藤田・小河原・櫻林・ 本田・山田	藤田 清貴	
				2	15					15					藤田・川口・石垣・平野	藤田 清貴
				2	15					15					藤田・小河原・亀子・櫻林	藤田 清貴
	生体機能検査学				2	30			15	15					古田島伸雄	古田島伸雄
					2	45					45				古田島伸雄	古田島伸雄
					2	15					15				古田島伸雄	古田島伸雄
					2	45					45				古田島伸雄	古田島伸雄
					1	15				15					川口 竜二	川口 竜二
					1	22.5				22.5					川口 竜二	川口 竜二
	検査総合管理学				2	30			15	15					高橋 克典	高橋 克典
					2	45				45					高橋 克典	高橋 克典
					1	15					15				高橋 克典	高橋 克典
						1	15			15					亀子 光明	亀子 光明
						1	15				15				川口 竜二	川口 竜二
					2	15					15				古田島伸雄	古田島伸雄
					3	45					45				藤田・小河原・亀子・ 川口・古田島・高橋(克)・ 石垣・柳・小林(幸)	藤田 清貴
					4	60						60			藤田・小河原・亀子・ 川口・古田島・ 高橋(克)・石垣・柳・ 小林(幸)	藤田 清貴
	病因・生体防御検査学				2	30			15	15					藤田 清貴	藤田 清貴
					2	45					45				藤田 清貴	藤田 清貴
					2	15					15				石垣 宏尚	石垣 宏尚
					1	15					15				高橋 克典	高橋 克典
					2	30			15	15					森田 耕司	森田 耕司
					2	45					45				森田 耕司	森田 耕司
					1	15					15				森田 耕司	森田 耕司
	生物化学分析検査学	40			2	15		15							石垣 宏尚	石垣 宏尚
					2	30			15	15					亀子 光明	亀子 光明
					2	45					45				亀子 光明	亀子 光明
					2	15					15				亀子 光明	亀子 光明
					2	15					15				亀子 光明	亀子 光明
					2	15					15				川口 竜二	川口 竜二
					2	45					45				川口 竜二	川口 竜二
					1	15					15				川口 竜二	川口 竜二
					1	15					15				高橋 克典	高橋 克典
				1	22.5					22.5				高橋 克典	高橋 克典	
	形態・病態検査学				2	30			15	15					小河原はつ江	小河原はつ江
					2	45					45				小河原はつ江	小河原はつ江
					2	30			15	15					小林 幸弘	小林 幸弘
					2	45					45				小林 幸弘	小林 幸弘
		41			2	15		15							佐藤 友香	佐藤 友香
				1	22.5			22.5						佐藤 友香	佐藤 友香	
					1	15			15					荒木 康久	荒木 康久	
				7	8W						8W			小河原・亀子・高橋・石垣	小河原はつ江	
			8	120						60	60		藤田・小河原・亀子・ 川口・古田島・高橋(克)	藤田 清貴		
	計（卒業要件）				82											
	卒業要件（最低）単位数				127											

必修科目75単位＋選択科目から7単位以上

授 業 科 目 名	心 理 学	単 位 認 定 者	榎 本 光 邦
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義・演習（講義内にて）・事例検討	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	心理学の各領域に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	1. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に生かす。		
関 連 科 目	教養科目：教育学，教育心理学，大学の学び入門 専門基礎科目：臨床心理学，カウンセリング		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験（80％）に受講時の意見文・感想文やレポート課題等平常点（20％）を加味して評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	前回の講義時に指示をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	心理学の歴史と方法	心理学の領域，心理学史	
2	脳と心理学	脳の構造，脳の働き，高次脳機能障害	
3	心の発達	発達の諸側面，子どもの発達，生涯発達心理学，発達障害	
4	感覚と知覚	感覚，知覚的な体制化，奥行き知覚と知覚の恒常性，錯覚，運動の知覚	
5	学習	レスポンド条件づけ，オペラント条件づけ	
6	記憶と思考	記憶のしくみ，記憶の二重貯蔵モデル	
7	動機づけと情動	動機づけと欲求，感情・情動，表出行動とコミュニケーション	
8	性格	類型論，特性論，性格検査の信頼性と妥当性	
9	対人関係と集団	対人認知，対人感情，関係の維持	
10	臨床心理学Ⅰ	精神分析（フロイト），分析心理学（ユング）	
11	臨床心理学Ⅱ 心理療法の技法	コラージュ療法の体験	
12	臨床心理学Ⅲ 心理臨床に必要な精神医学 の知識	精神障害の分類，精神障害の治療	
13	臨床心理学Ⅳ カウンセリング	来談者中心療法（ロジャース）	
14	臨床心理学Ⅴ 心理臨床の実践領域	教育領域の実践，福祉領域の実践，医療・保健領域の実践， 司法・矯正・警察領域の実践，産業領域の実践	
15	まとめ	これまでの広義の総括	

教 科 書	「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」山 祐嗣、山口 素子、小林 知博編著（北大路書房）
参 考 書	講義中に随時紹介する

授 業 科 目 名	生 命 倫 理	単 位 認 定 者	磯 部 太 一
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義・グループワーク・発表	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	医療に関わる専門家として身につけておかなければならない生命倫理・医療倫理の概要を、講義形式だけではなく、映像資料を適宜参照したり、ワークショップやグループワークなどを実施し能動的に学んでいきます。		
学 習 到 達 目 標	医療に関わる専門家という立場からだけでなく、医療を受ける患者や、患者の近親者の立場にたつて生命倫理的観点から多角的に考えることができるようになることを目指します。		
関 連 科 目	公衆衛生学、チーム医療論など。		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業中に実施するワークショップの参加レポート (30%)、平常点 (30%)、期末レポート (40%) などによる総合評価。		
準 備 学 習 の 内 容	授業の前後において、可能な範囲で、教科書や参考書の該当箇所に通して通してください。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	授業のイントロダクション ・生命倫理の誕生と展開1	授業全体の予定や授業の進め方などの説明 生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷	IV章 臨床化学
2	生命倫理の誕生と展開2	生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷 (続き)	
3	「患者-医療者」関係1	医の倫理、新しい医療のモデル、患者と医療者	
4	「患者-医療者」関係2		
5	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの歴史・意義	17 遺伝子 F 倫理
6	中絶と出生前診断・生殖技術	中絶・生殖技術を巡る立場と問題、様々な生殖技術	
7	安楽死と治療停止1	安楽死の歴史と概要、安楽死の問題点、安楽死を巡る日本	
8	安楽死と治療停止2	の状況、安楽死と治療停止の関係	
9	前半のまとめ	講義前半のまとめと復習 (*日程変更の可能性あり)	
10	グループワーク	「安楽死と治療停止」をテーマにしたグループワーク	
11	プレゼンテーション	グループワーク結果の発表	
12	脳死	脳死問題の背景、脳死の歴史と定義、脳死の判定基準	
13	臓器移植	臓器移植の歴史、臓器移植を巡る問題、臓器移植と法	
14	医療の役割	健康と病気、医療の論理、医学の進歩と医学研究	
15	まとめ	授業全体のまとめ、期末レポート相談	

教 科 書	『バイオエシックス入門—生命倫理入門』今井道夫、香川知晶 (編)、東信堂 (第三版版; 2001年)、2500円。 *第三版を使用する。
参 考 書	『命は誰のものか』香川知晶著、ディスカヴァー・トゥエンティワン (2009年) 『ケース・スタディ生命倫理と法 第2版』樋口範雄編、有斐閣 (第2版: 2012年)

授 業 科 目 名	教 育 学	単 位 認 定 者	横 井 利 男
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	意図的な教育は、主として学校や家庭で行われるが、看護や医療の現場においても教育的配慮が必要である。教員や親として、また医療従事者として必要な「教育者」の素養を身につけることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	人の成長・発達と教育の関係を考察することや、公教育の成立の過程や現状の問題点などについて理解することを通して、教育の本質（概念・思想・理論）に迫り、対象である学習者（生徒、我が子、患者）の実態に即した望ましい教育のあり方を考えることができるようにする。		
関 連 科 目	心理学・教育心理学・教育情報学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験（70%）・随時実施するミニ論文などを通しての授業への参加度（30%）		
準 備 学 習 の 内 容	授業内容について、シラバスや各回終了時の「次時の予告」に基づき、自分の経験などから問題意識をもっておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ヒトとは何か	ヒトの特性	
2	発達	発達と学習（個の欲求）	
3	教育	学習と教育（社会の要請）	
4	教育内容	「覚える」と「わかる」	
5		学力とは何か	
6	教育方法	「教える」と「育てる」	
7		学習意欲・動機付け	
8	心の教育	道徳的心情の教育	
9		宗教教育・人権尊重の教育	
10	教育制度	近代以前	
11		学校教育と教育改革	
12	学校不適応	いじめ・不登校	
13			
14	特別支援教育	心身の障害	
15		発達障害	

教 科 書	使用しない
参 考 書	講義時に適宜紹介する

授 業 科 目 名	教 育 情 報 論	単 位 認 定 者	西 谷 泉
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義と実習	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	情報の収集方法とその諸問題への対処法、倫理的問題への対応などを指導する		
学 習 到 達 目 標	本講義の内容を全員が一定のレベルまで理解し、実践できること		
関 連 科 目	情報処理		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	課題 15%、発表 15%、平常点 30%、試験 40%で総合して成績を付ける。		
準 備 学 習 の 内 容	特になし		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	情報とは何か	情報の意味と歴史	X. 医用工学概論 6 情報科学の基礎 A 情報の概論 a 情報理論の基礎 b 情報の伝達・蓄積・利用  I. 臨床検査総論 7 精度管理 A 概略 a 標準偏差  4 検査部門の管理と運営 D 情報管理 a 個人情報保護
2	情報の教育とは何か	情報の教育の意義と歴史	
3	情報収集の実習①	情報収集の方法と留意点①	
4	情報収集の実習②	情報収集の方法と留意点②	
5	情報収集の実習③	情報収集の方法と留意点③	
6	情報収集の実習④	情報収集の方法と留意点④	
7	情報収集の実習⑤	情報収集の方法と留意点⑤	
8	情報収集の実習⑥	情報収集の方法と留意点⑥	
9	情報収集の実習⑦	情報収集の方法と留意点⑦	
10	情報に関する諸問題への対処①	情報処理の倫理的問題と対処法①	
11	情報に関する諸問題への対処②	情報処理の倫理的問題と対処法②	
12	情報に関する諸問題への対処③	情報処理の倫理的問題と対処法③	
13	情報に関する諸問題への対処④	情報処理の倫理的問題と対処法④	
14	情報に関する諸問題への対処⑤	情報処理の倫理的問題と対処法⑤	
15	まとめ	全体の総括	

教 科 書	特になし
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	教 育 心 理 学	単 位 認 定 者	原 芳 典
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義および演習	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	人と人が関わる教育的出来事（事象）を体験的に振り返り、心理学的に解明・理解する		
学 習 到 達 目 標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、効果的援助方法を習得する		
関 連 科 目	教育学 心理学 発達心理学 臨床心理学 カウンセリング		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験（50%）および演習への参加（意見・感想）やレポートなどの平常点（50%）		
準 備 学 習 の 内 容	講義終了時に、次回の予告をする。格別準備はいらぬが自分の教育体験をよく想起しておく		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	教育心理学を学ぶ意義	ガイダンス 自らの教育体験を振り返る エクササイズ	
2	高校生の心理と発達	様々な発達理論 認知の発達 仲間関係 エクササイズ	
3	中学生の心理と発達	認知の発達 仲間関係 発達課題 エクササイズ	
4	小学生の心理と発達	認知の発達 仲間関係 発達課題 エクササイズ	
5	幼児の心理発達と家庭教育	認知の発達 家族関係 エクササイズ	
6	青年期の心理と課題①	青年期の発達課題 ジェンダー エクササイズ	
7	青年期の心理と課題②	進路とキャリアカウンセリング エクササイズ	
8	教育の実践的諸問題	いじめ 不登校 摂食障害 エクササイズ	
9	自己理解	自己と他者 自己評価 自己効力感 エクササイズ	
10	性格	類型論と特性論 性格検査 エクササイズ	
11	特別支援①	「障害」の定義の変遷 特性とニーズ エクササイズ	
12	特別支援②	高機能広汎性発達障害 アスペルガー LD ADHD	
13	学校臨床心理学	生活の場としての学校 潜在的カリキュラム 同僚性	
14	保健室	養護教諭と健康相談 アセスメント エクササイズ	
15	まとめ	講義のまとめと総括質問受付 エクササイズ	

教 科 書	小山望編「教育心理学～＜エクササイズ＞で学ぶ発達と学習」建帛社 2002年
参 考 書	保坂亨著「いま、思春期を問い直す」東京大学出版会 2010年 近藤邦夫他編「子どもの成長 教師の成長～学校臨床の展開」2000

授 業 科 目 名	英 語 I	単 位 認 定 者	杉 田 雅 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	テキストに沿って進める。 講義と受講者の授業参加。	オフィス・アワー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	専門分野の英語に取り組むための力をつける。 専門分野の基本的英語語彙力をつける。		
学 習 到 達 目 標	読解力とリスニング力の向上。 医療職の基本的英単語、英語表現の習得。		
関 連 科 目	【関連する教養科目】英語 II 英語基礎 英語表現 ステップアップ英語 I, II, 英語講読 I, II 広義には検査技術に関する科目全般に関連する。		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	前期末試験 (90%) 医療英単語テスト(10%)		
準 備 学 習 の 内 容	Reading: CD を聴いて各 Unit の練習問題を予習する。Transcript を読む。 前回の医療英単語、英語表現を覚える。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	Introduction	授業の説明、自己紹介	
2	Unit 1	Soccer Brain Study	
3	Unit 1	Soccer Brain Study	
4	Unit 3	Quake Concerns	
5	Unit 3	Quake Concerns	
6	Unit 5	Global Sea Level	
7	Unit 5	Global Sea Level	
8	Unit 7	Leaning Tower?	
9	Unit 7	Leaning Tower?	
10	Unit 9	Smell of Success	
11	Unit 9	Smell of Success	
12	Unit 11	Power of the Consumer	
13	Unit 11	Power of the Consumer	
14	Unit 13	Multigenerational Homes	
15	Unit 13	Multigenerational Homes	

教 科 書	関戸冬彦、Jake Arnold 他、 <i>CNN Student News (1)</i> 、朝日出版、2013年。 飯田恭子著 『アタマとオシリでわかる医療英単語』、医学書院、2005年。
参 考 書	英和辞書

授 業 科 目 名	英 語 II	単 位 認 定 者	杉 田 雅 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	テキストに沿って進める。 講義と受講者の授業参加。	オフィス・アワー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	英語 I で養成した専門分野の英語に取り組める力の継続と発展。 専門用語語彙力の継続と発展。		
学 習 到 達 目 標	読解力、リスニング力の向上。 医療職の基本的英単語語彙力、英語表現力の向上。 専門用語語彙力の発展。		
関 連 科 目	【関連する教養科目】英語 I 英語基礎 英語表現 ステップアップ英語 I, II 英語講読 I, II 広義には検査技術に関する科目全般に関連する。		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	後期末試験 (90%) 医療英単語テスト(10%)		
準 備 学 習 の 内 容	Reading: 各プリントの passage を予習する。 前回の 医療英単語、英語表現を覚える。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	医療系の読み物 1	A Holistic View of Human	
2	医療系の読み物 1	A Holistic View of Human	
3	医療系の読み物 2	Homeostasis, Stress, and Adaptation	
4	医療系の読み物 2	Homeostasis, Stress, and Adaptation	
5	医療系の読み物 3	Lifespan Development	
6	医療系の読み物 3	Lifespan Development	
7	医療系の読み物 4	Late Adulthood	
8	医療系の読み物 4	Late Adulthood	
9	医療系の読み物 5	Sports Medicine and Overtraining Syndrome	
10	医療系の読み物 5	Sports Medicine and Overtraining Syndrome	
11	医療系の読み物 6	Music Therapy: Soothing the Savage Beast	
12	医療系の読み物 6	Music Therapy: Soothing the Savage Beast	
13	医療系の読み物 7	Organ Transplant: A Matter of Life and Death	
14	医療系の読み物 7	Organ Transplant: A Matter of Life and Death	
15	医療系の読み物 8	The Health Care Team	

教 科 書	Reading: プリントを使用。 飯田恭子著 『アタマとオシロでわかる医療英単語』、医学書院、2005年。
参 考 書	英和辞書

授 業 科 目 名	英 語 表 現	単 位 認 定 者	杉 田 雅 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	テキストに沿って進める。 講義と受講者の授業参加。	オフィス・アワー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	英語 I、英語 II で養成した専門分野の英語に取り組める力の継続と発展。		
学 習 到 達 目 標	読解力、リスニング力、スピーキング力の向上。 医療英単語語彙力、医療現場での英語表現力の向上。		
関 連 科 目	【関連する教養科目】英語 I、II 英語基礎 ステップアップ英語 I、II 英語講読 I、II 広義には検査技術に関する科目全般に関連する。		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	後期末試験 (90%) 医療英単語テスト(10%)		
準 備 学 習 の 内 容	Reading: passage を予習する。 前回の授業で習った 医療英単語、英語表現を覚える。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	Introduction & Unit 1	First Visit to a Hospital	
2	Unit 1	First Visit to a Hospital	
3	Unit 2	How to Fill in a Registration Form	
4	Unit 2	How to Fill in a Registration Form	
5	Unit 3	Let' s Ask about Mr. Brown' s Daily Activities	
6	Unit 3	Let' s Ask about Mr. Brown' s Daily Activities	
7	Unit 4	Mr. Brown' s Symptoms	
8	Unit 4	Mr. Brown' s Symptoms	
9	Unit 5	Medical Check Up 1	
10	Unit 5	Medical Check Up 1	
11	Unit 6	Medical Check Up 2	
12	Unit 6	Medical Check Up 2	
13	Unit 7	Mr. Brown' s Diagnosis	
14	Unit 7	Mr. Brown' s Diagnosis	
15	Unit 8	Mr. Anderson' s Symptoms	

教 科 書	樋口昌彦&John Tremarco、 <i>First Aid!</i> 、金星堂、2013年。
参 考 書	英語辞書

授 業 科 目 名	中 国 語	単 位 認 定 者	深 町 悦 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。		
学 習 到 達 目 標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができるように進めたい。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	期末に筆記試験を行う。出席率と受講時の学習態度を参考し、総合成績を評価する。 基準は筆記試験の成績が70%、授業の平常点が30%。		
準 備 学 習 の 内 容	前回の講義で学習した内容を復習すること。特に発音と四声はテキストの CD を参考しながら、繰り返し練習して欲しい。新しい単語を暗記し、漢字の書く練習と読む練習をすること。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	発音の基本	ガイダンス、母音、四声	
2	発音の練習	母音、子音、四声	
3	発音の練習	音節表による発音の練習	
4	第1課の学習	挨拶「こんにちは」、語彙と文法	
5	第2課の学習	会話「あなたは中国人ですか」、語彙と文法	
6	第3課の学習	会話「健康保険証を持っていますか」、語彙と文法	
7	第4課の学習	会話「家族はどんな人がいますか」、語彙と文法	
8	第5課の学習	会話「あそこで少しお待ちください」、語彙と文法	
9	第6課の学習	会話「少し話せます」、語彙と文法	
10	第7課の学習	会話「検査室に行って検査をしてください」、語彙と文法	
11	第8課の学習	会話「どうでしたが」、語彙と文法	
12	第9課の学習	会話「口を開けてください」、語彙と文法	
13	第10課の学習	会話「この薬を飲んだことがありますか」、語彙と文法	
14	第11課の学習	会話「服をあそこに置いてください」、語彙と文法	
15	復習	発音、第1課から第11課までの復習	

教 科 書	医療系学生のための初級中国語 白帝社 山田真一著
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	コ リ ア 語	単 位 認 定 者	青 木 順
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	基礎的なコリア語を学ぶと同時に、韓国社会や文化への理解も深める。		
学 習 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。</li> <li>・正確な発音をマスターする。</li> <li>・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。</li> </ul>		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業中の小テスト数回 (40%)・期末テスト (60%)		
準 備 学 習 の 内 容	授業の復習をよくすること		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	第一課	<p>コリア語は語順が日本語と非常に似ており日本人にとっては学びやすい言語といえる。反面、日本語にない発音が多いため正確な発音を習得するには少々時間を要する。そこで、発音の練習とともに語彙を増やし、基本文法や会話を体系的に指導していく。</p> <p>前半はハングル文字の読み書きを中心に、語彙を増やすとともに簡単な挨拶言葉が言えるように、後半は文法を中心に簡単な日常会話ができるように講義を行う。また音楽鑑賞などを通じて、韓国の社会や文化に触れさせる。</p> <p>&lt;文字と発音&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハングルの読み方 基本母音と基本子音の一部</li> <li>・ハングルの読み方 基本子音</li> <li>・ハングルの読み方 基本子音と激音</li> <li>・ハングルの読み方 激音と濃音</li> <li>・ハングルの読み方 合成母音</li> <li>・ハングルの読み方 パッチム</li> <li>・ハングルの読み方まとめ</li> </ul> <p>挨拶言葉など通して韓国文化を学ぶ。</p> <p>&lt;文法と会話&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私は青木です」 単語と文法</li> <li>・「私は青木です」 文法と会話</li> <li>・「何人家族ですか」 単語と文法</li> <li>・「何人家族ですか」 文法と会話</li> <li>・「すみません」 単語と文法と会話</li> <li>・「どうぞ召し上がってください」 単語と文法</li> <li>・「どうぞ召し上がってください」 文法と会話</li> <li>・まとめ</li> </ul>	
2	第二課		
3	第三課		
4			
5	第四課		
6	第五課		
7	第六課		
8	第七課		
9			
10	第八課		
11			
12	第九課		
13	第十課		
14			
15	まとめ		

教 科 書	講師作成教材使用予定 (コピー)
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	家 族 学	単 位 認 定 者	内 藤 和 美
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	学生は皆、家族関係の中にあり、今後その多くは自ら新しい家族を形成していく。また、保健医療サービスの対象者の多くは家族関係の中にあり、サービス提供にあたっては、その人だけでなく、家族や家族関係をも対象とすることが必須である。この科目は、職業人、生活者、市民としての家族に関する見識および“家族する力”の養成と、家族を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近代家族の特徴、家族機能など、家族を理解し、考察し、ひいては将来サービス対象とするための基本的な概念を習得する</li> <li>2. 自分と定位家族、自らが将来つくるかもしれない家族、そこにおける家庭生活、家庭生活と職業生活のバランス等についてより具体的に考えられるようになる</li> <li>3. 保健医療サービスの対象者が家族関係の中にあることや、当事者だけでなく家族関係もサービス対象となることが認識できる</li> </ol>		
関 連 科 目	【関連し合う教養科目】 ジェンダー論 地域社会学 法学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	学習到達目標の達成度を測る内容の定期試験の結果に出席、毎回のミニッツペーパーの記述・提出、取組み姿勢をはじめとする平常点を加味して評価する。配点内訳は、試験点 8:平常点 2 を目安とする。		
準 備 学 習 の 内 容	前回授業の重要事項を見直しておくこと		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	家族をとらえる (1)	近代家族の基本概念 近代家族の特徴 近代家族の誕生	
2	家族をとらえる (2)	日本における家族の近代化	
3	家族の機能 (1)	家族と世帯、世帯の動向、家族周期、国際家族年に示された家族の理念	
4	家族の機能 (2)	近代家族が担ってきた基本機能=生活保障 生活保障の第一側面：家事労働	
5	家族をめぐる制度 (1)	生活保障の第二側面：就労による経済基盤の確保 生活保障の第三側面：感情機能	
6	家族をめぐる制度 (2)	民法第四編 親族① 親族 婚姻	
7	家族をめぐる制度 (3)	民法第四編 親族② 親子 後見 第五編 相続 戦前	
8	家庭経済 (1)	明治民法における「家」制度	
9	家庭経済 (2)	“夫婦別姓”とはどういう問題か	
10	生活習慣 (1)	家庭経済内部の4つの活動とその循環①稼得：収入と所得、所得の種類、賃金とその内訳	
11	生活習慣 (2)	②モノの購入一家計支出、家計支出の内訳、③家事労働：消費と労働力の再生産、家事労働の種類、④貯蓄	
12	ワークライフバランス(1)	生活習慣、医療と生活習慣、生活習慣への働きかけ、家族と生活習慣①食生活	
13	ワークライフバランス(2)	家族と生活習慣②喫煙、③飲酒	
14	ワークライフバランス(3)	ワーク・ライフ・バランス 働く人の生活への配慮	
15	まとめ	家庭責任をもつ人の仕事への支援 臨床検査技師としての成長と私生活の運営・充実、DVD 視聴 まとめ	

教 科 書	使用しない (プリントによる)
参 考 書	千田有紀：日本型近代家族—どこから来てどこへ行くのか。勁草書房、2011 柏木恵子：父親になる、父親をする：家族心理学の視点から。岩波ブックレット；No. 811、2011 信田さよ子「家族の悩みにおこたえましょう」朝日新聞出版 2012

授 業 科 目 名	情 報 処 理	単 位 認 定 者	西 谷 泉
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	コンピュータを使った実習形式で行う。	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	Excel を使用した実習を通して、情報処理の基本的な知識・技能を実習的に習得する。		
学 習 到 達 目 標	Excel を用いて種々のデータを表やグラフ等に表現処理し、その結果を考察すると共に、結果をプレゼンテーションできるようにする。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験(40%)・課題提出(15%)・発表(15%)・平常点(30%)を総合判断して、成績評価を行う。詳細は、講義の中で説明する。		
準 備 学 習 の 内 容	特になし		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	統計学の基礎①	統計学の歴史について指導する	
2	統計学の基礎②	統計学の基本的事項について指導する	
3	Excel の基本	Excel の基本的事項について指導する	
4	合計、平均の計算	種々のデータの合計、平均について指導する	
5	関数の活用	Excel 内の種々の関数について指導する	
6	最大・最小	種々のデータの最大値・最小値について指導する	
7	表の作成	種々のデータを表にする方法を指導する	
8	グラフ作成	種々のデータのグラフの描き方について指導する	
9	様々なグラフ	種々のグラフの描き方等について指導する	
10	データベースの基本事項	種々のデータベース作成について指導する	
11	データのソート、検索、集計	種々のデータのソート、検索、集計を指導する	
12	Word への Excel の埋め込み	Word への Excel の埋め込みについて指導する	
13	研究課題の発表①	各受講生が独自に調べた内容を PowerPoint を用いてプレゼンテーションを行う	
14	研究課題の発表②	各受講生が独自に調べた内容を PowerPoint を用いてプレゼンテーションを行う	
15	まとめ	全体的なまとめを行う	

教 科 書	「30 時間でマスター Excel2010」(実教出版)
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	法学（日本国憲法含む）	単 位 認 定 者	齋 藤 周
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 （ 1 5 コ マ ）	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	基本的人権・民主主義・平和といった問題を検討することを通じて、ひとりひとりが幸せに生きられる社会のあり方を考える。		
学 習 到 達 目 標	政治・経済・社会への認識を深め、主権者として成長する。あるいはより一般的に言えば、事実に基づいて論理的にものごとを考える力をつける。法律の条文や解釈を暗記することはない。		
関 連 科 目	経済学、ジェンダー論、家族学、教育学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	論述中心の筆記試験により評価する。〈自分の考えを、説得力をもって説明できているかどうか〉を、評価の基準とする。(100%)		
準 備 学 習 の 内 容	参考文献を読む。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	序論	憲法・法律の役割	
2	人権総論	人権とは何か	
3	人権各論①	家族と人権	
4	人権各論②	労働と人権	
5	人権各論③	権利としての教育	
6	人権各論④	刑罰と人権	
7	人権各論⑤	被疑者・被告人の人権と冤罪	
8	人権各論⑥	表現の自由	
9	民主主義と政治制度①	民主主義と独裁政治	
10	民主主義と政治制度②	参政権と選挙制度	
11	民主主義と政治制度③	国民主権と象徴天皇制	
12	平和①	15年戦争	
13	平和②	原爆投下	
14	平和③	憲法9条と自衛隊・在日米軍	
15	平和④	海外派兵と改憲論	
★	各回の授業内容と順番は変更することがある。		

教 科 書	使用しない。
参 考 書	森英樹『新版 主権者はきみだ 一憲法のわかる50話－』岩波ジュニア新書

授 業 科 目 名	環 境 学	単 位 認 定 者	西 菌 大 実
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。		
学 習 到 達 目 標	1. 環境問題の背景と発生原因への理解 2. 公害問題、地球環境問題とその対策、関連する法制度の理解 3. 資源・エネルギーの適切な利用の理解と循環型社会・持続可能社会構築への認識		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験 (90%)、平常点 (10%)		
準 備 学 習 の 内 容	自筆ノートの整理		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	環境とは	環境問題の範囲と背景	
2	地球の環境の構造	地球の自然の成り立ち	
3	生活を支える資源	再生可能資源と再生不能資源、食料生産と環境	
4	環境問題の変遷	公害問題から地球環境問題への歴史的・内容的変遷	
5	典型七公害	足尾鉍毒、四大公害病	
6	有害物質による環境汚染	イタイイタイ病を事例として	
7	水質汚濁 (I)	水質汚濁の原因、生活排水、BOD	
8	水質汚濁 (II)	水質汚濁の対策、下水と浄化槽、多自然川づくり	
9	オゾン層破壊	オゾン破壊物質、紫外線	
10	地球温暖化 (I)	温室効果ガス、気候変動の状況と見通し、対策	
11	地球温暖化 (II)	予防原則、世代間公平の原則、先進国途上国の責任	
12	エネルギー問題	日本の1次エネルギー現状、再生可能エネルギー	
13	廃棄物問題	一般廃棄物、産業廃棄物、医療廃棄物、感染性廃棄物	
14	循環型社会	3R、熱回収、適正処分	
15	持続可能社会	再生可能資源中心の社会づくり	

教 科 書	使用せず (プリント配布)
参 考 書	「環境白書」環境省編・ぎょうせい

授 業 科 目 名	ジ ェ ン ダ ー 論	単 位 認 定 者	内 藤 和 美
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	1. 高度経済成長期以降の日本における、「性別」を組み込んだ社会のありようを解説し、それがどのような問題を生み出してきたかを理解する 2. 若い人たちが形成のその担い手となる、性別に関して公正な社会像を明らかにし、そこに至る具体的な方策を考える		
学 習 到 達 目 標	1. 日常生活・社会生活の中にある、性別に関するさまざまな社会慣習、社会通念を認識できる 2. 従来の社会慣習、社会通念にどのような問題があったのかが理解できる 3. 性別について公正で、どのような性別の人にもより生きやすい社会の姿を認識できる 4. 性別を帯びた存在として社会人・生活者・市民となっていく自身の生き方をより具体的に考えることができる		
関 連 科 目	【関連する教養科目】家族学、法学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	講義を踏まえ、主に、課題に対する自身の分析・解釈・見解を論述する形の試験を実施する。試験点に出席、毎回のミニツペーパーの記述・提出、取組み姿勢をはじめとする平常点を加味して評価する。配点内訳は、試験点 8:平常点 2 を目安とする		
準 備 学 習 の 内 容	前回授業の重要事項を見直しておくこと		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ジェンダー、戦後日本社会のジェンダー構造	ジェンダーとは 製造装置の回路（2つの性別分業）、一次生産物（社会資源の男性偏在）、二次生産物（女性問題）	
2	製造装置を読み解く(1)	第1の性別分業：社会的労働と私的労働	
3	製造装置を読み解く(2)	第1の性別分業：社会的労働と私的労働（続）	
4	製造装置を読み解く(3)	第2の性別分業：社会的労働の中の性別分業（基幹労働と周辺労働）、2つの性別分業の関係	
5	生産物次元の問題(1)	一次生産物：経済力と意思決定の男性への偏り、	
6	生産物次元の問題(2)	二次生産物：女性問題—女性に対する暴力、とくにDVを具体例として(1)	
7	生産物次元の問題(3)	二次生産物：女性問題—女性に対する暴力を例に DV(1)	
8	生産物次元の問題(4)	二次生産物：女性問題—女性に対する暴力を例に DV(2) ハラスメント	
9	子育てとジェンダー	子育てに係る能力に男女差はあるのか？	
10	児童虐待(1)	児童虐待の定義、種類、問題	
11	児童虐待(2)	児童虐待の実態	
12	児童虐待(3)	児童虐待の防止・対応	
13	性別について 公正な社会へ(1)	国連女性差別撤廃条約、男女共同参画社会基本法、性別について公正な社会の姿(1)	
14	性別について 公正な社会へ(2)	性別について公正な社会の姿(2) 社会的労働と私的労働のゆくえ	
15	まとめ	まとめ	

教 科 書	使用しない（プリントによる）
参 考 書	内閣府「男女共同参画白書 平成 25 年度版」

授 業 科 目 名	地 域 社 会 学	単 位 認 定 者	坂 本 祐 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	日常生活においては、あまり意識することのない「地域」であるが、様々な領域において、「地域」の重要性が再認識されている。少子高齢の進行する日本社会において、高齢者と子どもの生活も「地域」を基盤としているし、環境や防災の問題においても「地域」での解決を要する問題である。講義を通して、地域社会における問題点、自分の身近な地域における生活の問題と意味を考えることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	1. 地域社会に関する基本的な知識（地域社会の概念、日本社会における歴史的な地域社会の状況、地域社会の構成要素など）を身につける。 2. 地域社会で解決しうる現代社会の諸問題について学ぶ。 3. 地域社会を身近なこととしてとらえ、地域社会に対して各自が関心と意見を持つ。		
関 連 科 目	関連し合う教養科目 －家族学 ジェンダー論 ボランティア活動論 経済学 この科目が基盤となる専門基礎科目 －社会福祉・地域サービス論 国際医療協力論		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	講義時間内に、何度か小レポートを実施。定期試験、小レポート、平常点などを考慮して総合的に評価する（定期試験 70%・平常点と小レポート 30%）。		
準 備 学 習 の 内 容	普段から社会の変化を感じ、地域社会で何が問題になっているのか自分で考える力を養うため、新聞を読む習慣をつけてもらいたい。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	地域社会学の概論(1)	地域社会、地域コミュニティへのアプローチ。なぜ今「地域」が重要なのか。地域社会とは何か。	
2	地域社会学の概論(2)	地域社会の都市化への変遷・歴史。生活の質とライフスタイルの変化。	
3	地域社会学の概論(3)	地域社会で解決しうる諸問題について（環境、家族、教育、福祉、防災など）①	
4	地域社会学の概論(4)	地域社会で解決しうる諸問題について（環境、家族、教育、福祉、防災など）②	
5	地域社会学の概論(5)	地域社会で解決しうる諸問題について（環境、家族、教育、福祉、防災など）③	
6	地域と家族(1)	労働環境の変化と地域社会における生活の変化	
7	地域と家族(2)	家族の機能と家族の変容	
8	子育てと地域社会(1)	都市化の進展と子育て環境の変化	
9	子育てと地域社会(2)	地域で育児を支援する様々な取り組み	
10	地域コミュニティの担い手(1)	コミュニティ福祉の理念と方法	
11	地域コミュニティの担い手(2)	ボランティアと住民組織の再評価 新しい公共	
12	地域コミュニティの担い手(3)	NPOの可能性とコミュニティ・リーダー	
13	地域コミュニティの担い手(4)	地域における社会起業家の活躍 コミュニティ・ビジネス	
14	地域コミュニティの形成	地域におけるソーシャル・キャピタルとネットワーク	
15	まとめ	講義内容の振り返り	

教 科 書	教科書は特に定めない。必要に応じて随時、レジュメや資料を配布する。
参 考 書	「地域の社会学」森岡清志編（有斐閣アルマ）

授 業 科 目 名	ボランティア活動論	単 位 認 定 者	竹 澤 泰 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義 実践	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	ボランティアとは何か。ボランティア活動実施における問題点。ボランティア活動と心の交流。		
学 習 到 達 目 標	ボランティアについての基本概念とその歴史を修得。 ボランティア活動を国内のみならず国際的な見地からもながめ、現在行われている活動を調査・理解する。そして将来のボランティア活動参加意欲を育てる。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	テーマ毎に行うグループプレゼンテーションとそのレポート(60%)。毎時間講義内容に対する意見提出に対する評価(40%)。		
準 備 学 習 の 内 容	自分の意見や考え方を表現出来るようにしておく。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ボランティアとは エゴグラムテスト	学生に「ボランティア」についてのディフィニションを問う エゴグラムテストにより自己分析・認識をする。 ボランティア活動のみならず将来の職業においても必要である	IX公衆衛生学
2	ボランティア活動	講師の30年間のボランティア活動(日本と米国) 現在行っているNPO法人の活動について	8 国際保健 A 国際機関・医療協力
3	ボランティアの歴史	ボランティア活動の歴史概論	
4	ボランティア活動の経験談	JICA派遣 (アフリカ) 矢部哲也氏 ボランティア活動 竹澤同席	
5	ボランティア活動の経験談	国際問題研究所長 太田氏 竹澤同席	
6	ボランティア活動の経験談	館林厚生病院 回復期リハビリ病棟 看護師	
7	ボランティア活動のプレゼンテーション、調査開始	発表に関する資料作り方について質疑応答 グループ毎に現行のボランティア活動を調査する前に、調査の仕方・調査の論点がずれていないかを確認自分の意見を持ち、聞き手に理解させる話方の訓練。学生同志発表を採点する。質疑応答	
8	同上	同上	
9	プレゼンテーション開始	各グループで調査しまとめたことを発表する	
10	同上	同上	
11	同上	同上	
12	同上	同上	
13	ボランティアについて 講義全体のまとめ	調査・学習したことについてのまとめの指導 ボランティアについての意見交換	
14	レポートの書き方	発表した結果をレポートにまとめ方指導	
15	まとめ	レポート提出	

教 科 書	特になし
参 考 書	「ボランティアという人間関係」原田隆司(世界思想社) シリーズ福祉のこころ 1 福祉の心 2 障害ってなんだろう、3 老いのものがたり、4 きみの心のサポーター、 5 命のあかりを求めて 旬報社

授 業 科 目 名	経 済 学	単 位 認 定 者	飯 島 正 義
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義形式	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは私たちの経済生活そのものを知ることになります。		
学 習 到 達 目 標	1. まず経済学の基礎理論をできるようにする 2. その上で、現実の経済問題について理解できるようにする		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	平常点 (学習態度、授業中に行う確認プリント等) 40%、学期末試験 (筆記試験) 60%		
準 備 学 習 の 内 容	高校時代に学んだ「政治・経済」の「経済」のところをもう一度見直しておいて下さい。一層理解が深まると思います。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	イントロダクション	授業内容とその進め方、成績評価について説明	
2	国民経済の仕組み	経済3主体、国民経済の仕組みと租税	
3	市場メカニズムとその限界	市場メカニズムとは何か、市場の失敗	
4	景気循環	景気の波、日本の「景気指標」を読む	
5	物価	物価とは何か、インフレ・デフレと私たちの生活	
6	政府の役割	政府の役割、政府の失敗	
7	財政・金融政策 (1)	財政政策	
8	財政・金融政策 (2)	金融政策	
9	国内総生産 (GDP) (1)	国内総生産とは何か、三面等価の原則	
10	国内総生産 (GDP) (2)	「国民経済計算」のデータを読む	
11	経済成長	経済成長とは何か、成長要因は、日本の成長率を確認する	
12	貿易・国際収支	比較優位説、国際収支とは何か、「国際収支表」を読む	
13	為替レート	為替レートとは何か、為替レートの変動とその影響	
14	少子高齢化と社会保障 (1)	少子高齢化の経済への影響、年金問題	
15	少子高齢化と社会保障 (2)	医療問題	

教 科 書	使用しません。当日プリントを配布します。
参 考 書	必要に応じて随時紹介します。

授 業 科 目 名	健 康 ス ポ ー ツ 理 論	単 位 認 定 者	衣 川 隆
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	「健康・スポーツ科学講義第2版」の内容を中心に講義を行う。	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	健康と運動、老化と寿命等に関しその維持と増進方法について考える。またスポーツを行なうことや、その能力を高めることに心の問題は切り離せない。近年、スポーツを心理学的視点から科学的に究明しようとするスポーツ心理学の研究は、スポーツの普及・発展とともにに広がりを見せ、スポーツへの参加や運動学習に関するものから、競技力向上や健康づくりに関するものまで多岐にわたっている。本講義では、スポーツ心理学の概要と基礎的知識も学習する。		
学 習 到 達 目 標	健康と運動、老化と寿命に関する内容の理解と自分の考えをまとめさせる。スポーツ行動にともなう心理的なことがらを、様々な角度から客観的に分析・評価するための基礎的知識と態度を身につける。		
関 連 科 目	健康スポーツ実技 運動生理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	①平常点 (50%) ②ミニレポート(20%) ③期末試験もしくは最終レポート(30%)		
準 備 学 習 の 内 容	特になし		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	オリエンテーション	健康スポーツ理論講義の中で、大学1年生の生活習慣を目的に向かって正しい方向に進んでいけるように、そして生涯にわたって主体的に心身の健康の保持増進を図っていくことが肝要である旨を意識させる。	
2	身体の仕組みと運動	身体の仕組みと運動	
3	運動と生活習慣病	生活習慣病と関連する要因	
4	身体の発育・発達と運動	子供の時期の運動	
5	学生生活と運動	健康を維持・増進するための運動	
6	老化と運動	老化に伴う身体機能の変化と運動について	
7	スポーツと栄養	運動と栄養、体重コントロールについて	
8	スポーツと心 (1)	情動、競技ストレス	
9	スポーツと心 (2)	スポーツの心理的効果	
10	スポーツと心 (3)	不安、バーンアウト	
11	コンディショニング (1)	心理的問題と心理的スキル	
12	コンディショニング (2)	目標設定、リラクゼーション	
13	コンディショニング (3)	注意集中、イメージの活用	
14	コンディショニング (4)	情動の自己コントロール	
15	まとめ	まとめ	

教 科 書	特に指定はありません。
参 考 書	「健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店

授 業 科 目 名	健 康 ス ポ ー ツ 実 技	単 位 認 定 者	衣 川 隆
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	スポーツ実技を中心に講義を行う	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	各種のスポーツ実践を通じて、基本的技能の習得を深めるとともに、身体を動かす楽しさ・チームワークの重要性を体感することを目的とする。加えて、1年次教育プログラムの目的とするより豊かで協同的な人間関係と学生生活の充実の一助となるよう学生相互のコミュニケーションの機会を意図的に設ける。		
学 習 到 達 目 標	目標とする学生らしさを醸成するために 1. 挨拶と敬語の励行（相手より先に挨拶する）、「宜しくお願いします」「お疲れ様でした」。 2. 準備と後片付けをしっかりとる。 3. 怒の心・感謝のできる心・謙虚な心・応援される人間の養成。 4. リーダーシップを発揮できる学生を育てる。 5. 個人や仲間と小さい壁を乗り越えたことで達成感を体験し、上級生になったときの大きな壁に向かっていける気持ちを醸成する。 6. 生涯にわたりスポーツを楽しむ心を育てる。		
関 連 科 目	健康スポーツ理論 運動生理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	①平常点 (30%) ②態度 (30%) ③意欲 (30%) ④理解度 (10%) の総合評価（運動能力の優劣での絶対評価は行わない）		
準 備 学 習 の 内 容	特になし		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ガイダンス	体力測定	
2	実技	ソフトボール（ボール作り、キャッチボール）	
3	実技 1	ソフトボール（連続キャッチボール）	
4	実技 2	ソフトボール（トスバッティングと守備練習）	
5	実技 3	ソフトボール（守備練習、内野外野分かれて練習）	
6	実技 4	ソフトボール（練習試合）	
7	実技 5	ソフトボール（練習試合）	
8	実技 6	ソフトボール（リーグ戦）	
9	実技 7	ソフトボール（リーグ戦）	
10	実技 8	ソフトボール（リーグ戦）	
11	実技 9	ソフトボール（リーグ戦）	
12	実技 10	ソフトボール（リーグ戦）	
13	実技 11	ソフトボール（リーグ戦）	
14	実技 12	ソフトボール（リーグ戦）	
15	実技	体力測定  ※毎回基礎体力作りトレーニングあり ※上達具合により進捗に変更あり	

教 科 書	使用せず
参 考 書	使用せず

授 業 科 目 名	大 学 の 学 び 入 門	単 位 認 定 者	杉 田 雅 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義、ワーク	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	火曜日、木曜日の昼休み
科 目 の 目 的	高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行する 1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習へ 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活へ		
学 習 到 達 目 標	1. 大学での学習に必要な、基本的な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル）を高める 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、人間関係能力を高める（スチューデント・スキル）		
関 連 科 目	全科目		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	レポート（50%）、試験（20%）、受講時の意見文・感想文等の平常点（30%）		
準 備 学 習 の 内 容	前回授業の重要事項を見直しておくこと		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	科目の説明、大学生の学習・生活、アカデミック・スキルとスチューデント・スキル (杉田)	科目の目的・目標・進め方の説明、高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	
2	インターネットリテラシー (杉田)	インターネット利用のルールとマナー	
3	医療・医療技術職の歴史 (浅見)	医療がどのように発展・発達してきたか。それぞれの医療技術職の歴史	
4	医療技術の学び (浅見)	医療技術者を目指すものとして、どのように学ぶか	
5	教養ということについて (浅見)	医療系の学生として一般教養科目にどのように向き合っていくか	
6	自身の課題を見つける (杉田)	前回までの授業を踏まえて、自身の学習と生活を検証し、学習、生活両面の自己課題を見出す	
7	相手の話を聴く (榎本)	ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する。	
8	自分の気持ちや考えを伝える (榎本)	グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする。	
9	協力して作業する (榎本)	これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する	
10	聞く・読む (杉田)	授業を受ける、ノートを取る、本や資料を読む	
11	考える (杉田)	直感的感情的反応から論理的思考へ、課題を見出す、解決の筋道を組立てる	
12	調べる (杉田)	情報を探す	
13	書く (杉田)	レポートの書き方(1)	
14	書く (杉田)	レポートの書き方(2)	
15	書く (杉田)	レポートの書き方(3)	

教 科 書	使用しない
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	教 養 ゼ ミ ナ ー ル	単 位 認 定 者	藤 田 清 貴
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	演習	オ フィ ス ・ ア ワ ー	演習終了後に各グループの担当教員が質問を受け付ける。
科 目 の 目 的	少人数のグループに分かれグループ学習を行う。担当教員を含めたグループ内討論により課題テーマを設定し、調査・研究、討論を行い資料作成などに取り組む。グループ学習の結果については発表会を行い、学習能力を高める。さらに、講義では医療・科学分野などで活躍する外部講師を招き、各領域の仕事内容や医療人としての心構えを学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題テーマの選択から発表までの一連のプレゼンテーションの仕方を理解できる。</li> <li>2. グループ討論に積極的に参加し相手の意見を理解しながら自分の考えを述べることができる。</li> <li>3. 各領域の業務内容を理解できる。</li> </ol>		
関 連 科 目	生命倫理, 大学の学び入門, チーム医療論, 生殖医療技術学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	演習への取り組み 50%, 発表内容 20%, レポート 30%により成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。		
準 備 学 習 の 内 容	グループ学習においては課題テーマの情報収集を積極的に行いその内容を理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	イントロダクション	教養ゼミナールの進め方, グループ分け, グループ討論	
2	グループ学習 (1)	グループ討論 (課題テーマの選定, 役割分担)	
3	グループ学習 (2)	グループ討論 (分担内容の調査結果について報告・討論)	
4	グループ学習 (3)	グループ討論 (追加・確認内容について報告・討論)	
5	グループ学習 (4)	グループ討論 (調査・研究結果のまとめ)	
6	グループ学習 (5)	発表スライド作成準備 (PowerPoint の使い方)	
7	グループ学習 (6)	発表スライド作成	
8	グループ学習 (7)	グループ発表練習 (発表スライドによる練習)	
9	発表と討論	全グループによる発表・討論 (発表 8 分, 討論 2 分)	
10	特別講演 (1)－病院における臨床検査技師の役割	①大学病院における役割 ②一般病院における役割	
11	特別講演 (2)－医療機関における臨床検査技師の役割	①検査センターにおける役割 ②治験コーディネーターの役割	
12	特別講演 (3)－臨床エンブリオロジストの役割	①臨床エンブリオロジストの歴史と展望 ② 不妊治療施設における業務と役割	
13	特別講演 (4)－法医学, 鑑識領域における業務と役割	①法医学における臨床検査の活用 ②鑑識における業務と役割	
14	特別講演 (5)－NIH の活動と米国における臨床検査技師の役割	米国国立衛生研究所 (NIH) の活動, および米国における臨床検査技師の役割	
15	討論会－臨床検査技師の今後を考える。	臨床検査技師会長を囲んでの全体討論会	

教 科 書	特になし。
参 考 書	必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	生 物 学 基 礎	単 位 認 定 者	佐 藤 久 美 子
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	高等学校で学んだ「生物」の知識を基にして専門科目の生命科学関連科目を理解するために必要な生命現象と生体機能・遺伝の基礎的知識を深めることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	以下の事項を学ぶことによりヒトの生命活動の全体像を理解することを目標とする。 1. 生命を支える物質    2. 生命の単位    3. 生命活動とエネルギー 4. 細胞の増殖と分化    5. 生殖細胞の形成、受精・発生・分化 6. 遺伝のメカニズムと情報発現    7. ヒトの遺伝		
関 連 科 目	解剖学、生理学、生化学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	学習到達目標の達成度を測る内容の中間試験 (40%)・定期試験 (40%)・授業への参加度 (20%)		
準 備 学 習 の 内 容	各回ともシラバスの講義内容に一致する教科書の部分を読み概要を把握しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1 ～ 2	生命を支える物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物学の研究対象や方法</li> <li>生物の多様性</li> <li>生命現象の特質</li> <li>水と生命との関わり</li> <li>タンパク質の構成単位、アミノ酸の構造と種類</li> <li>タンパク質の構造と機能</li> <li>炭水化物(糖質)の種類と役割</li> <li>脂質の種類と役割</li> <li>核酸の種類と構造</li> <li>無機質(無機塩類)の種類と役割</li> </ul>	
3 ～ 4	生命の単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウイルス(大きさや形)</li> <li>原核細胞と真核細胞の構造</li> <li>細胞膜の構造と働き、細胞膜を介した物質の輸送、及び細胞質基質内で行われている種々の物質の合成、分解反応</li> <li>粗面小胞体と滑面小胞体の構造と機能、両者の関係及び粗面小胞体上で合成される蛋白質の特徴</li> <li>ゴルジ体の構造と機能</li> <li>リソゾームとリソゾームに含まれる酵素の特徴、細胞内で果たす役割</li> <li>ペルオキシソーム</li> <li>ミトコンドリアの構造と機能</li> <li>色素体</li> <li>細胞骨格の種類とその役割</li> </ul>	
5 ～ 6	生命活動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>酵素の性質や特徴と酵素反応</li> <li>光エネルギーを利用して二酸化炭素から炭水化物を作り出す光合成とエネルギー運搬体ATP</li> <li>生体のエネルギー産生とミトコンドリアの役割(解糖系からTCA回路、電子伝達系によるエネルギーの産生)</li> <li>産生されたエネルギーの行方</li> </ul>	

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
7 ～ 9	中間試験 細胞の増殖・生殖細胞の形成 細胞の分化と幹細胞 ヒト配偶子の形成、受精、発 生概説	1回～6回までの講義内容について問う。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・体細胞で見られる細胞分裂(体細胞分裂)と配偶子を形成する過程で見られる減数分裂</li> <li>・細胞周期とS期、G2期、M期、G1期の各期に起こる形態的・生化学的変化</li> <li>・G1期の細胞の特徴</li> <li>・細胞の分化と各種幹細胞、胚性幹細胞、iPS細胞</li> <li>・幹細胞の医療分野における応用の可能性</li> <li>・多細胞体の体制維持とアポトーシス</li> <li>・ヒトの精子と卵子の形成</li> <li>・キアズマ形成と遺伝子組み換えのメカニズムと意義</li> <li>・ヒトの受精及び初期発生と胚葉の分化の概要</li> </ul>	
10 ～ 12	遺伝のメカニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAから染色体へ</li> <li>・DNA複製機構(DNAの開裂、プライマーの形成、リーディング鎖とラギング鎖、岡崎ピースとDNAポリメラーゼ、DNAリガーゼの役割)</li> <li>・遺伝情報と形質発現の機構</li> <li>・原核細胞と真核細胞における形質発現機構の相違</li> <li>・真核細胞における形質発現の詳細</li> <li>・原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール</li> <li>・原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール特定の時期(環境)に特定の遺伝子が発現する機構(あるいは発現しない機構)</li> <li>・性染色体の不活化</li> <li>・放射線、化学薬品、食物添加物、化粧品等によるDNAの損傷機構や損傷によって引き起こされる影響</li> <li>・生体の備わっているDNA修復機構</li> </ul>	
13 ～ 15	ヒトの遺伝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトの遺伝子と染色体</li> <li>・メンデルの法則とヒトの遺伝</li> <li>・家系図の表し方</li> <li>・常染色体性優性遺伝病と劣性遺伝病</li> <li>・伴性遺伝病、</li> <li>・ミトコンドリア病、多因子遺伝病、</li> <li>・保因者・患者の出現頻度</li> <li>・染色体とその異常</li> <li>・先天異常とその発症要因</li> </ul>	

教科書	人の生命科学 医歯薬出版株式会社 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄
参考書	高校で生物を受講しなかった人へ 生物図録 【数研出版】 高校生物補助教材 総合図説生物 【第一学習社】 高校で生物を受講した人へ アメリカ版 大学生物学の教科書 1-3巻 D. サダヴァ他著 ブルーボックス 【講談社】 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学 前野正夫・磯川桂太郎著 【羊土社】 高校生物補助教材

授 業 科 目 名	数 学 基 礎	単 位 認 定 者	栗 田 昌 裕
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 7.5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	毎回、講義内容に関連する内容のプリントを配布し、解説する。簡単な問題をその場で考えて解く。	オ フ ィ ス ・ ア ウ ー	講義日の昼休み
科 目 の 目 的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療や検査技術を含む現象に結びつけて応用するセンスと技能を学び、将来、臨床検査技師として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。		
学 習 到 達 目 標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。3. 定量的にものごとを評価するセンスを磨く。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	筆記試験 (100%)		
準 備 学 習 の 内 容	テキストとして渡すプリントにある例題をそのつど復習して、次回の講義の前提となる基礎力を確実に得ておくことが準備学習である。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	数と式	多項式の四則演算を復習する。生活の中でそのセンスを磨くことを促す。	
2	方程式と不等式	1次不等式、2次方程式の復習をする。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	
3	2次関数	関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最少の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で定量的なセンスを発揮することを促す。	
4	図形と計量	三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	
5	個数の処理	集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを応用、活用することを考える。	
6	確率	事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	
7	論理と命題	命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的にものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	
8	平面図形	平面図形の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	

教 科 書	特になし
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	化 学 基 礎	単 位 認 定 者	西 菌 大 実
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 7.5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	化学は基幹学問の一部を形成しており、医学との関連も深く密着している。高校化学を学ばなかった学生に対しても、必要な化学の基本を学べるように進める。		
学 習 到 達 目 標	検査に重要な生理学や医薬品の特質を深く理解できるようになる。また、専門職としての技能向上だけでなく、健康な生活をおくることの手助けとして、化学的理解が役立てられる。		
関 連 科 目	特になし		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験 (90%)、平常点 (10%)		
準 備 学 習 の 内 容	自筆ノートの整理		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	物質の成り立ち	物質は何からできているか	
2	物質の変化	化学反応、燃焼とはなにか、エネルギーの出入り	
3	物質の状態	固体・液体・気体、溶液、コロイド、イオン	
4	有機化合物	炭素の性質、炭化水素、アルコール、有機酸	
5	高分子化合物	炭水化物、脂質	
6	高分子化合物	タンパク質、核酸	
7	生命と化学	生体高分子、酵素	
8	まとめ	内容を振り返ってまとめる	

教 科 書	「食を中心とした化学」【第3版】東京教学社
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	英 語 基 礎	単 位 認 定 者	柴 山 森 二 郎
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 7.5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	文型練習、発音練習、文法の説明	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	英語の文法で学生の理解が不足している部分を復習する。		
学 習 到 達 目 標	語順と文型、動詞の時制、準動詞、句と節の用法などを理解する。		
関 連 科 目	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語表現		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	授業の課題・小テスト(40%)と期末テスト(60%)で総合的に評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	テキストとプリントの予習と復習をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	Unit 1, 2, 3	be 動詞、一般動詞、未来形	
2	Unit 4, 5, 6	助動詞、冠詞、代名詞	
3	Unit 7, 8	前置詞、接続詞	
4	Unit 9, 10	比較、進行形、	
5	Unit 11, 12	to 不定詞、動名詞	
6	Unit 13, 14	受動態、現在完了	
7	Unit 15, 16	関係詞、仮定法	
8	Review	まとめ	

教 科 書	書名：Simply Grammar 著者：斎藤喜久志、城一道子 発行所：南雲堂 定価：1800円＋税
参 考 書	英英辞書、英和辞書、和英辞書

授 業 科 目 名	解 剖 学 I	単 位 認 定 者	浅 見 知 市 郎
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	2 単 位 ( 3 0 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (asami@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	臨床検査技師として必要な人体の基本的な構造を習得する。		
学 習 到 達 目 標	人体の基本的な構造を説明できる。基本的な解剖学用語を知っている。		
関 連 科 目	解剖学Ⅱ、生理学、生化学、病理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験 100%		
準 備 学 習 の 内 容	膨大な学習内容です。必ずシラバスに沿って教科書を読んできてください。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	オリエンテーション	解剖学とは何か 器官とその系統 組織と細胞 (上皮組織、支持組織)	V 章 病理組織細胞学
2	人体のあらまし	組織と細胞 (筋組織、神経組織) 人体の外形と方向用語	1 解剖学総論
3	骨格系	骨学総論	C 立体解剖
4	骨格系	頭部の骨	D 断面解剖
5	骨格系	脊柱 胸郭 上肢の骨	E 人体骨格の概要
6	骨格系	下肢の骨格	
7	筋系	筋学総論 頭頸部の筋	F 筋の概要
8	筋系	体幹の筋	
9	筋系	上肢・下肢の筋	
10	脈管系	血管総論 心臓	3 解剖学・病理学各論
11	脈管系	動脈系	G 体腔と縦隔
12	脈管系	静脈系 胎生期の循環 リンパ系	A 循環器系
13	脈管系	リンパ系器官 血液・血球・造血組織	D 血液・造血器系
14	内臓	消化器総論 口腔	C 消化器系
15	内臓	咽頭 食道 胃 腸	
16	内臓	肝臓 胆嚢 膵臓	
17	内臓	呼吸器総論 鼻腔 副鼻腔 咽頭 喉頭 気管と気管支	B 呼吸器系
18	内臓	肺	
19	内臓	泌尿器系	F 腎・尿路系
20	内臓	男性生殖器	G 生殖器系
21	内臓	女性生殖器 腹膜	
22	内臓	内分泌系	E 内分泌系
23	神経系	神経系総論 脊髄	H 神経・運動器系
24	神経系	延髄 橋 小脳 中脳 間脳	
25	神経系	大脳	
26	神経系	脳室と脳脊髄液 脳神経	
27	神経系	脊髄神経	
28	神経系	自律神経 伝導路	
29	感覚器系	視覚器	I 感覚器系
30	感覚器系	平衡聴覚器 皮膚	J 皮膚及び胸壁

教 科 書	入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂 解剖トレーニングノート 竹内修二 医学教育出版社 入門組織学 牛木辰男 南江堂
参 考 書	解剖学講義 伊藤隆原著 高野庸子改訂 南山堂 (医学部で最も一般的に使用されているテキストです。医学生に負けずに勉強してください。)

授 業 科 目 名	解 剖 学 II	単 位 認 定 者	浅 見 知 市 郎
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 7.5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (asami@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	解剖学 I を補完し、主として各臓器の組織学的構造と発生学に重点を置き習得する。		
学 習 到 達 目 標	光学顕微鏡レベルでの組織構造と発生学的事項を説明できる。		
関 連 科 目	解剖学 I、生理学、生化学、病理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験 100%		
準 備 学 習 の 内 容	膨大な学習内容です。必ずシラバスに沿って教科書を読んできてください。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	発生学のあらし	受精から着床へ 発生第 2 週と第 3 週	V 章 病理組織細胞学 1 解剖学総論 A 発生の概要 B 細胞と組織
2	発生学のあらし	胎生第 4 週から第 8 週 胎生第 3 月から出生まで	
3	細胞	細胞の構造	
4	細胞	細胞の活動 細胞の一生	
5	上皮組織	上皮組織の特徴 分類 腺	
6	支持組織	結合組織 軟骨組織 骨組織	
7	筋組織	骨格筋組織 心筋組織 平滑筋組織	
8	神経組織	神経細胞 神経線維 シナプス 神経膠細胞 末梢神経の支持細胞	

教 科 書	入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂 解剖トレーニングノート 竹内修二 医学教育出版社 入門組織学 牛木辰男 南江堂
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	生 理 学 I	単 位 認 定 者	洞 口 貴 弘
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア フ ー	講義実施日の 18 : 00 ~ 19 : 00
科 目 の 目 的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。		
学 習 到 達 目 標	人体各部の機能および、それを生み出す基本構造と仕組みを確認すること。 これらを発展させ疾患に対したときの機能の低下、不安定状態などをよみとる基礎能力を養う。		
関 連 科 目	生理学Ⅱ、解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学、運動学Ⅰ・Ⅱ、運動生理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	毎回授業開始直後に前回の講義内容に関する簡単な小テストを行う(出欠の意味も含めて)。 小テストの平均点×0.6+期末試験の点数×0.4 で最終的な評価を決定する。		
準 備 学 習 の 内 容	授業内容および小テストや期末テスト内容は、指定した教科書に準ずる。 そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ガイダンス 生理学の基礎の基礎	生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官	IV章 臨床化学 1 生命のメカニズム B 細胞の構造と働き
2 3	神経の基本的機能	神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達	III章 臨床生理学 8 神経系検査の基礎 A 神経
4 5	筋肉の基本的機能	筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮	10 筋電図検査 A 基礎
6 7 8	神経系の機能	末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動 機能の調節	8 神経系検査の基礎 B 末梢神経
9	自律神経系	交感神経、副交感神経と内臓機能の調節	8 神経系検査の基礎 B 末梢神経
10 11	血液の生理学	血液の組成とその機能	VI章 臨床血液学 1 血液の基礎 A 血液の成分
12 13 14	循環の生理学	心臓血管系の基本構造と機能、調節	III章 臨床生理学 2 循環系検査の基礎 A 循環生理 B 心臓
15	呼吸の生理学	呼吸器系基本構造と機能、調節	6 呼吸器系検査の基礎 A 呼吸と睡眠の生理

教 科 書	「シンプル生理学 第6版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂)
参 考 書	「標準生理学」(医学書院) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 「ギャノン生理学」(西村書店) 「はじめの一歩のイラスト生理学」(羊土社)

授 業 科 目 名	生 理 学 II	単 位 認 定 者	洞 口 貴 弘
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義実施日の 18 : 00 ~ 19 : 00
科 目 の 目 的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。		
学 習 到 達 目 標	人体各部の機能および、それを生み出す基本構造と仕組みを確認すること。 これらを発展させ疾患に対したときの機能の低下、不安定状態などをよみとる基礎能力を養う。		
関 連 科 目	生理学 I、解剖学 I・II、生化学、運動学 I・II、運動生理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	毎回授業開始直後に前回の講義内容に関する簡単な小テストを行う(出欠の意味も含めて)。 小テストの平均点×0.6+期末試験の点数×0.4 で最終的な評価を決定する。		
準 備 学 習 の 内 容	授業内容および小テストや期末テスト内容は、指定した教科書に準ずる。 そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)			
1	呼吸の生理学	呼吸器系基本構造と機能、調節	III章 臨床生理学 6 呼吸器系検査の基礎 A 呼吸と睡眠の生理			
2	内分泌系の機能	ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能	IV章 臨床化学 14 ホルモン A ホルモンの種類と性質			
3			V章 病理組織細胞学 3 解剖学・病理学各論 C 消化器系			
4			消化と吸収	3 解剖学・病理学各論 C 消化器系		
5	感覚の生理学	様々な感覚の受容と知覚のメカニズム	3 解剖学・病理学各論 I 感覚器系			
6			体温とその調節	X章 医用工学概論 1 臨床検査と生体物性 B 生体物性の基礎		
7				尿の生成と排泄および体液とその調節	I 章 臨床検査総論 1 尿検査 A 一般的性状	
8					睡眠・記憶・情動	III章臨床生理学 8 神経系検査の基礎 C 中枢神経
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

教 科 書	「シンプル生理学 第6版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂)
参 考 書	「標準生理学」(医学書院) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 「ギャノン生理学」(西村書店) 「はじめの一步のイラスト生理学」(羊土社)

授 業 科 目 名	生 化 学	単 位 認 定 者	亀 子 光 明
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	教科書、資料、スライド等を用いて指導する。	オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (kameko@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	臨床検査で必要となる、生体物質の構造、機能とその代謝を学ぶとともに、遺伝子や栄養に関する生化学の基礎知識を習得する。		
学 習 到 達 目 標	糖質、脂質、タンパク質、アミノ酸、核酸等の主要な生体構成成分について、生合成や代謝の過程を理解する。		
関 連 科 目	化学、生物学、栄養学、薬理学、生理学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験 (85%)、課題レポート (10%)、出席点 (5%)		
準 備 学 習 の 内 容	教科書および配布資料の目を通しておく。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	生化学総論	生体構成成分、細胞の構造と機能	IV章 臨床化学 1 生命のメカニズム A 生命現象の生体構成成分 a~e 2 生物化学分析の基礎 B 単位 a~c
2	糖質	糖質の定義と分類、構造と機能	5 糖質 A 糖質の構造と機能 a・b
3	脂質	脂質の定義と分類、構造と機能	6 脂質 A 脂質の構造と機能 a・b
4	タンパク質	タンパク質の構造と性質、アミノ酸の分類と構造	7 蛋白質 A アミノ酸と蛋白質の構造と機能 a・b
5	核酸	核酸の構造と性質	17 遺伝子 A 核酸の構造と代謝 a
6	酵素	酵素分類と命名法、酵素反応速度論、酵素活性、アイソザイム	11 酵素 A 酵素の基礎 a~e B 酵素活性の測定 a・b
7	糖質代謝	糖質の消化・吸収、解糖系と糖新生、TCA サイクル、糖質代謝と疾患との関係	5 糖質 B 糖質の代謝 a~g C 糖質の検査 a~d
8	脂質代謝	脂質の消化・吸収、脂肪酸合成と酸化分解、トリグリセリド合成、リン脂質・糖脂質・コレステロールの各代謝	6 脂質 B 脂質の代謝 a~i
9	タンパクの代謝とアミノ酸	タンパク質の消化・吸収、タンパク質の合成と分解、アミノ酸の分解と生合成	7 蛋白質 B アミノ酸と蛋白質の代謝 a~e
10	エネルギー代謝と核酸代謝	高エネルギー化合物、電子伝達系、酸化的リン酸化、ヌクレオチドの合成と分解	8 生体エネルギー A 高エネルギー化合物の役割と種類 a~c 17 遺伝子 A 核酸の構造と代謝 b

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
11 12 13	情報伝達機構 総論 ホルモン 酸塩基平衡	情報伝達物質の種類、受容体 ホルモンの分類と役割 体液の成分、電解質、酸塩基平衡の異常	14 ホルモン A ホルモンの種類と性質 B ホルモンも作用と調節機序 C ホルモン検査と臨床的意義 a~k 4 無機質 A 水と無機質の調整および代謝 a~c B 無機質の検査 a~d, j, k
14 15	遺伝子 基礎 疾患・検査法	遺伝子の複製、転写、翻訳 遺伝子変異と修復機構、遺伝子異常による疾患、検査方法	17 遺伝子 BDNA の複製 a~b C 遺伝子の構造と発現 a~h D 遺伝子の異常と疾患 a~f E 遺伝子解析法 a~i F 倫理 a~b

教科書	臨床検査学講座 第2版 生化学 安部喜代司 他 編 (医歯薬出版)
参考書	ハーパー・生化学 (原書27版) 上代淑人 監訳 (丸善) シンプル生化学 改訂第5版 林 典夫 編 (南江堂)

授 業 科 目 名	医 学 概 論	単 位 認 定 者	藤 田 清 貴
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (fujita@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	医療人として幅広い知識と教養をもって医療に貢献できるように、医学の概要および歴史を知り、わが国の保健・医療・福祉に関する制度をよく理解する。さらに、病気による患者の心理的特徴や医の倫理、医療従事者の倫理について考え、医療従事者の心構えを学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康と病気について説明できる。</li> <li>2. 医学の歴史について説明できる。</li> <li>3. 病院の役割と我が国の医療制度について説明できる。</li> <li>4. 医療施設についてその種類と違いを説明できる。</li> <li>5. 医療法の特徴について説明できる。</li> <li>6. 医の倫理および医療従事者の倫理について説明できる。</li> </ol>		
関 連 科 目	生命倫理, 公衆衛生学, 社会福祉・地域サービス論, 関係法規		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験 80%, 受講態度 20%により成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。試験形態は筆記試験とする。		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	医学概説 (1)	基礎医学, 社会医学, 臨床医学	IX章 公衆衛生学 1 医学概論 A 医学と医療の歴史 B 社会と健康 D わが国の医学史
2	医学概説 (2)	健康と病気, 医学と医療	
3	医学の歴史 (1)	医学の起源, 原始医療, 古代の医学	D わが国の医学史
4	医学の歴史 (2)	中世の医学, 近世の医学, 日本の医学	
5	病院の部門別役割	病院における各部門の役割	7 衛生行政 B 医療制度
6	わが国の医療制度	医療体系, 老人の医療と福祉	
7	医療提供体制	医療施設の種類, 医療従事者の身分	7 衛生行政 B 医療制度
8	医療法	医療法の改正, 我が国の医療制度の特徴	
9	医療保険制度	医療保険の種類, 診療報酬支払制度	9 関係法規 B 医事法規
10	社会保障費と医療財政	国民医療費と医療費の現状と問題	
11	病院医療の質	医療の質の維持と向上, 安全な医療	7 衛生行政 C 社会保険 B 医療制度
12	患者心理	患者の心理的特徴, 病気の経過による心理状態	
13	医の倫理	患者の権利の尊重, 死をめぐる諸問題	1 医学概論 F 医の倫理 F 医の倫理
14	医療従事者の倫理	医療従事者の倫理, 医療過誤	
15	医療事故	医療事故をめぐる諸問題	

教 科 書	星 和夫: 臨床検査学講座 「保健医療福祉概論」 (医歯薬出版)
参 考 書	奈良 信雄: 臨床検査学講座 「臨床医学総論/臨床検査医学総論」 (医歯薬出版) その他, 必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	病 理 学	単 位 認 定 者	塩 崎 秀 一
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	病理学は、病気の原因・経過および結果を追求し、病気における形態と機能の変化を明らかにすることで、病気の本態を究明する。本講義はその総論に当たる内容から、看護に必要な知識を学ぶ。具体的には、病因について学習した後、先天異常、代謝異常、循環障害、炎症（免疫・膠原病）、腫瘍という病変の五大カテゴリーを学び、老化と死についても概略を学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	病理学の基本を理解し、病態の把握の基礎力をつける。		
関 連 科 目	解剖学Ⅰ・Ⅱ 生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学 内科学 老年医学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験とレポート、出席を総合的に評価（100%）		
準 備 学 習 の 内 容	特になし		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	序論 病理学とは	病理学とは、病因論、内因、外因、公害病と医原病、疾病の分類。	V章 病理組織細胞学 2 病理学総論
2	先天異常	奇形と胃炎性疾患、奇形の種類、遺伝の関与と奇形、	A 病因 a 内因 b 外因
3	代謝異常 1	遺伝異常による疾患、遺伝性疾患の診断と治療、	B 遺伝子染色体異常 a 奇形 b 染色体異常 c 遺伝子異常
4	代謝異常 2	細胞の障害と適応、変性、壊死とアポトーシス、細胞の適応、細胞障害の結果としての物質沈着。	C 変性
5	代謝異常 2	脂質代謝異常と疾患、タンパク質代謝異常と疾患、糖質代謝異常と疾患、その他の有機質の代謝異常と疾患、無機質の代謝異常と疾患。	D 物質代謝異常 a 糖代謝異常 b 脂質代謝異常 c 蛋白質代謝異常 d 核酸代謝異常
6	循環障害 1	循環器系の概要、循環血液量の異常、充血、うっ血、虚血、出血、ショック。	E 循環障害 a 虚血 b 充血 c うっ血
7	循環障害 2	閉塞性の循環障害、血栓症、播種性血管内凝固、塞栓症、側副循環、リンパの循環障害。	F 炎症 a 定義 b 原因 c 経過 d 転帰 f 分類
8	炎症と免疫、膠原病 1	炎症、炎症の原因、炎症の経過、創傷治癒、炎症の治療、炎症の各型。	G 免疫異常 a アレルギー b 免疫不全 c 移植と拒絶反応 d 自己免疫疾患
9	炎症と免疫、膠原病 2	免疫とアレルギー、自然免疫系と適応免疫系、免疫担当細胞、抗体と補体、能動免疫と受動免疫	H 腫瘍 a 定義 b 形態 c 分類
10	炎症と免疫、膠原病 3	免疫不全、先天性免疫不全、エイズ、移植と自己免疫、主要組織適合複合体、膠原病。	d 広がり e 発生原因 f 癌関連遺伝子
11	腫瘍 1	腫瘍の定義と分類、異形度・分化度・悪性度、悪性腫瘍の転移と進行度。	
12	腫瘍 2	腫瘍の発生病理、腫瘍の発生原因、がん発生の外因、がん発生の内因、腫瘍の診断と治療、がんの予防。	
13	老化と死	老化とは、ホメオスタシスの老化、主要組織・臓器の老化、死について。	
14	病理検査	病理検査の意義、細胞診、生検組織診、手術時の迅速診断、病理解剖、病理組織・細胞診標本の作製課程。	
15	まとめ① まとめ②		

教 科 書	New エssenシャル病理学、長村ほか著、医歯薬出版
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	公 衆 衛 生 学	単 位 認 定 者	石 館 敬 三
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 7.5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	健康及び公衆衛生の基礎的概念を学習する。タテ系である各種疾患対策、環境対策とヨコ系である統計、疫学、健康教育、試験検査などが織りなす総合科学である、活動であることを理解する。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。</li> <li>2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。</li> <li>3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。</li> </ol>		
関 連 科 目	生命倫理 環境学 地域社会学 情報処理 救急・免疫・感染症学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験 100%		
準 備 学 習 の 内 容	「国民衛生の動向」は公衆衛生の現実社会を写している鏡である。 講義前に該当する事項に眼を通しておくことが望ましい。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	公衆衛生の理解 人口と公衆衛生	健康の概念の変遷、公衆衛生の概念 世界人口の動向、日本の少子高齢化の進行 年齢3区分別人口の割合	IX章 公衆衛生学 1 医学概論 2 公衆衛生の意義 3 人口統計と健康水準 4 疫学 5 環境と健康 6 健康の保持増進 7 衛生行政
2	環境と公衆衛生	人間と生活環境、環境行政のあゆみ、地球環境問題 大気汚染の状況、公害健康被害補償、環境基準	
3	食と公衆衛生 国民の健康と保健統計 同 上	食中毒の発生状況、食中毒の種類 健康指標、20世紀100年の変化	
4	疫病の疫学と予防 同 上	年齢調整死亡率の意義 疫学の方法、疫学調査方法、因果関係推論、 スクリーニング	
5	生活習慣病対策	感染症の疫学、新感染症予防法	
6	公衆衛生活動 例 同 上	結核対策、HIV 対策 がんの予防、その他生活習慣病予防	
7	保健・医療行政	精神保健対策、介護保険制度 母子保健、老人保健、歯科保健、難病対策 地域保健法、医療法改正の動き、地域医療連携	
8	課題研究発表	社会保障制度、国民医療費 指定課題による研究発表	

教 科 書	新体系看護学7 「公衆衛生学」 小野寺伸夫著 (株)メデカルフレンド社 国民衛生の動向 2012/2013 版 財団法人 厚生統計協会
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	遺 伝 と 病 気	単 位 認 定 者	川 口 竜 二
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義・演習	オフィス・アワー	講義の前後
科 目 の 目 的	遺伝現象、発生について分子生物学的側面と、遺伝子に起因する病気に関する基礎知識を習得する。		
学 習 到 達 目 標	ヒトの遺伝学および分子遺伝学の基礎知識を修得し、遺伝子自体およびその異常が遺伝性疾患や体質に与える影響について理解する。		
関 連 科 目	遺伝子検査学、遺伝子検査学実習、遺伝子工学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験 80%、課題レポート成績 20%を加味して評価する。		
準 備 学 習 の 内 容	前回の講義時に指示をする。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	遺伝とヒトゲノムおよび染色体		
2	単一遺伝子疾患 (1)		
3	単一遺伝子疾患 (2)		
4	個人・集団における遺伝的変異・多因子遺伝		
5	臨床細胞遺伝学 (1)	染色体と染色体異常	
6	臨床細胞遺伝学 (2)	染色体異常	
7	ヒト遺伝子マッピングと連鎖解析		
8	症例から学ぶ臨床遺伝学	(1) 染色体異常・まとめ	
9	分子遺伝学の基礎	DNA 診断法	
10	症例から学ぶ臨床遺伝学 (2)	遺伝子異常症	
11	症例から学ぶ臨床遺伝学 (3) 遺伝子異常症		
12	がんの遺伝学の基礎		
13	遺伝カウンセリング		
14	出生前診断・遺伝子治療		
15	まとめ 2		

教 科 書	特になし
参 考 書	特になし

授 業 科 目 名	免 疫 学	単 位 認 定 者	藤 田 清 貴
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (fujita@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	生体内防御反応機構などの免疫のシステムの基礎知識、および免疫異常による疾患の特徴などを学ぶ。さらに、感染症の基礎知識、特徴、感染経路、臨床的経過などについても学ぶ。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然免疫、獲得免疫について説明できる。</li> <li>2. 免疫グロブリンの種類と特徴、および免疫応答について説明できる。</li> <li>3. 補体の成分と活性化経路、および機能について説明できる。</li> <li>4. 感染症、性感染症、HIV 感染症の特徴、および感染経路について説明できる。</li> <li>5. 肝炎ウイルスの種類と特徴について説明できる。</li> <li>6. アレルギーの種類と特徴について説明できる。</li> <li>7. 自己免疫疾患と自己抗体との関連性について説明できる。</li> <li>8. 免疫不全症の種類、および特徴について説明できる。</li> <li>9. 急性相反応物質、温度依存性蛋白の種類、および M 蛋白血症の特徴と臨床的意義について説明できる。</li> </ol>		
関 連 科 目	内科学、遺伝と病気、免疫検査学、微生物検査学、ウイルス検査学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	中間テスト 30%、定期試験 50%、受講態度 20%により成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。試験形態は筆記試験とする。		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	免疫学序論	自己と非自己の識別、免疫に関与する細胞、組織、器官	VIII章 臨床免疫学
2	免疫システム概論	自然免疫、獲得免疫	1 生体防御の仕組み A 免疫系による生体防御、 B 免疫担当細胞、組織、 細胞、 C 免疫の成立と調節 D 抗原
3	抗原	抗原の定義、分類、抗原性を発揮するための条件	D 抗原
4	抗体 (1)	免疫グロブリンの構造、分類、特徴	E 抗体 (免疫グロブリン)
5	抗体 (2)	免疫グロブリンの多様性と抗原マーカー、一次免疫応答、二次免疫応答	E および C の h 一次・二次 免疫応答
6	補体	補体の定義、成分、活性化経路、臨床的意義	F 補体
7	感染症 (1)	感染症総論、検査、治療、予防、院内感染、感染症の現状	3 免疫と疾患の関わり A 感染防御免疫
8	感染症 (2)	性感染症 (梅毒、クラミジア)、ツツガムシ病、マイコプラズマ肺炎	B 感染症の免疫学的検査
9	HIV 感染症/AIDS	HIV 感染症と AIDS、HIV の感染経路、診断、臨床的経過	E 免疫不全
10	肝炎ウイルス	A 型、B 型、C 型、D 型、E 型肝炎ウイルスの特徴、診断、臨床的経過	B 感染症の免疫学的検査
11	アレルギー	I 型、II 型、III 型、IV 型、V 型アレルギーの発生机序、特徴	F アレルギー
12	自己免疫疾患	自己免疫疾患の定義、分類、自己抗体と臨床的意義	G 自己免疫

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
13	免疫不全症	B細胞不全症, T細胞不全症, 複合型不全症の分類と特徴, 二次免疫不全症の分類と特徴	E 免疫不全
14	血清蛋白異常症 (1)	血清蛋白総論, 血清蛋白異常症のスクリーニング検査	I 異常免疫グロブリン症
15	血清蛋白異常症 (2)	急性期反応物質, 温度依存性蛋白, M 蛋白血症の特徴と臨床的意義	I 異常免疫グロブリン症 H 炎症と急性期反応物質

教科書	窪田哲郎, 他: 臨床検査学講座 「免疫検査学」 (医歯薬出版) 藤田清貴: 臨床検査で遭遇する異常蛋白質-基礎から発見・解析法まで (医歯薬出版)
参考書	高津聖志, 他 (監訳): 免疫学イラストレイテッド (南江堂) その他, 必要に応じて資料を配布する。

授 業 科 目 名	リハビリテーション概論	単 位 認 定 者	松 澤 正
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	リハビリテーションは、障害を持った者が社会復帰するための過程であり、障害を持った者が、どのような理念で、また、どのような手順で社会復帰するか講義を通して理解させる。	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	木曜日：12:10-13:00 (場所：研究室)
科 目 の 目 的	リハビリテーションにおける医学的、教育的、職業的、社会的リハビリテーション領域の目的、対象、方法を通して、リハビリテーションの中での理学療法士や看護師の位置づけや役割を理解させる。		
学 習 到 達 目 標	リハビリテーション医療の中での理学療法士や看護師の役割を理解し、実践できるようになることを目標にする。		
関 連 科 目	理学療法概論 リハビリテーション医学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	筆記試験やレポート等を総合して評価する。 試験 80%、授業態度 20%		
準 備 学 習 の 内 容	障害や福祉に関する用語を調べ学習しておく できれば障害や福祉施設でボランティア活動をする		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	リハビリテーションの定義、 理念、歴史	リハビリテーションの定義、理念、歴史	
2	障害論	障害論	
3	障害者の心理	障害者の心理	
4	リハビリテーションの構成	リハビリテーションの構成	
5	医学的リハビリテーション	医学的リハビリテーション	
6	チーム医療とリハビリテ ーション医療の進め方	チーム医療とリハビリテーション医療の進め方	
7	地域リハビリテーション	地域リハビリテーション	
8	リハビリテーションにおけ る評価学	リハビリテーションにおける評価	
9	治療学、症例	治療、症例	
10	教育的リハビリテーション	教育的リハビリテーション	
11	職業的リハビリテーション	職業的リハビリテーション	
12	社会的リハビリテーション	社会的リハビリテーション	
13	社会的リハビリテーション	社会的リハビリテーション	
14	寝たきり老人のリハビリテ ーション	寝たきり老人のリハビリテーション	
15	認知症のリハビリテ ーション	認知症のリハビリテーション	

教 科 書	プリント教材を使用する。
参 考 書	「入門リハビリテーション概論」中村隆一（医歯薬出版） 「現代リハビリテーション医学」千野直一（金原出版）

授 業 科 目 名	臨 床 心 理 学	単 位 認 定 者	森 慶 輔
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	主に講義による	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	臨床心理学の基礎について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する		
学 習 到 達 目 標	臨床心理学の基礎について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得することが目標である。また、保健医療場面における患者の心理と患者とのコミュニケーションの方法についても理解を深めることを目指す		
関 連 科 目	すべての科目と関連		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	期末試験（おおむね 50%）、課題レポート（おおむね 20%）と授業態度（おおむね 30%）を総合して評価する		
準 備 学 習 の 内 容	教科書の該当部分を読んでおく		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	ガイダンス	ガイダンス	
2	臨床心理学の基礎 1	人間の問題行動はどのように捉えられるのか、正常と異常の区別の観点から考える	
3	臨床心理学の基礎 2	人間の発達を概観し、発達段階と疾病・障害の関係について理解する	
4	臨床心理学の基礎 3	保健医療領域における問題行動について、主に転移・逆転移と防衛機制について理解する	
5	臨床心理アセスメント 1	心理領域のアセスメントについて、その目的と方法を理解する	
6	臨床心理アセスメント 2	日本で広く使われている個別式知能検査について理解するとともに、認知症のスクリーニング検査を体験する	
7	臨床心理アセスメント 3	日本で広く使われている矢田部ギルフォード性格検査と CMI を体験し、心理テストによるアセスメントの長所短所を考える	
8	臨床心理アセスメント 4	日本で広く使われている風景構成法（あるいはバウムテスト）を体験するとともに、箱庭の VTR を通して子どもの心理状態のアセスメントについて考える	
9	心理（精神）療法 1	S, Freud の精神分析について、その基本的な考え方を理解する	
10	心理（精神）療法 2	C, R, Rogers のクライアント中心療法について、その基本的な考え方を理解する	
11	心理（精神）療法 3	行動療法について、その基本的な考え方を理解する	
12	心理（精神）療法 4	認知行動療法について、その基本的な考え方を理解する	
13	心理（精神）療法 5	家族療法／短期療法について、その基本的な考え方を理解する	
14	患者の立場に立つとは？	患者中心の医療について、事例等を用いて理解を深める	
15	まとめ	まとめ	

教 科 書	山祐嗣・山口素子・小林知博 編著「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」北大路書房、2009 年 ※「心理学」で使用したものと同じものなので、既に持っている場合は購入の必要はありません
参 考 書	鎌田實「言葉で治療する」朝日新聞出版、2009 年 高橋和巳「心を知る技術」筑摩書房、1997 年（文庫版は 2000 年）

授 業 科 目 名	国 際 医 療 協 力 論	単 位 認 定 者	辻 村 弘 美
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	前 期
単 位 数	1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	選 択

指 導 方 法	講義、グループワーク	オ フィ ス ・ ア ワ ー	講義の前後
科 目 の 目 的	国際協力の目的や意義を理解し、保健医療の視点から国際協力などのあり方を考えることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際協力の歴史的な経緯と最近の動向が理解できる</li> <li>2. 保健医療協力の必要性とその対策が理解できる</li> <li>3. 国際保健医療の現状及び課題が理解できる</li> <li>4. 保健医療協力の現場で自分ができる国際協力活動とは何かを考えることができる</li> </ol>		
関 連 科 目	関連する教養科目ーボランティア活動論 関連する専門基礎科目ーチーム医療論、公衆衛生学、医療統計学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	試験・レポート (80%)、授業への参加態度 (20%)		
準 備 学 習 の 内 容	日常生活の中で国際保健や国際医療に関する報道について興味をもってください、積極的にグループワークなどに参加して欲しい。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	授業ガイダンス及び 国際医療協力総論 1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際協力の歴史とその変遷 被援助国時代から援助供与国になるまで</li> <li>2. 日本の国際協力の流れ 二国間援助 (無償資金協力, 技術協力, 有償資金協力) と多国間援助</li> <li>3. 国際協力に関わる機関、GO、NGO などの援助機関 (JICA、厚生労働省、外務省、WHO、UNICEF、NGO など) の役割について</li> </ol>	IX章 公衆衛生学 8 国際保健 A 国際機関・医療協力 a 世界保健機構 (WHO) b 国際連合 (UN) c 国際協力機構 (JICA)
2	国際医療協力総論 2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. なぜ国際協力が必要なのか ・世界のさまざまな格差 ・わが国が受けた支援 ・ODA大綱の基本理念と原則</li> <li>2. プライマリ・ヘルスケア (PHC) について ・PHCの基本原則と意義 ・PHCの展開と現状</li> </ol>	
3	国際医療協力総論 3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミレニアム開発目標 (MDGs) について ・保健医療分野における意義と重要性 ・MDGsの進捗状況 ・MDGsの課題と展望</li> </ol>	6 健康の保持増進 C 母子保健 a 母子保健の指標
4	国際保健医療の現状 及び課題 1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先進国と開発途上国について</li> <li>2. 貧困とは</li> <li>3. 栄養問題</li> <li>4. 環境問題</li> </ol>	5 環境と健康 A 地球環境 a 地球環境問題 6 健康の保持増進 A 栄養保健 a 栄養欠乏・栄養過剰
5	国際保健医療の現状 及び課題 2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症について ・ポリオ、麻疹根絶活動 ・マラリア、下痢症、結核</li> </ol>	8 国際保健 B 世界の保健状況 a 世界の人口 b 死亡統計 c 感染症の実態
6	国際保健医療の現状 及び課題 3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. HIV/AIDS</li> <li>2. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ</li> </ol>	
7,8	国際保健医療の実際 1	(外部講師による講義予定) <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際協力活動</li> <li>2. 環境保全活動への取り組み など</li> </ol>	5 環境と健康 A 地球環境 a 地球環境問題

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)	
9	国際保健医療の実際 2	1. NGO における医療や環境への取り組み (DVD) 2. 国際緊急援助活動	IX章 公衆衛生学 8 国際保健 A 国際機関・医療協力 c 国際協力機構 (JICA)	
10	国際保健医療の実際 3	1. 青年海外協力隊活動		
11	グローバル社会と医療 1 (講義)	1. 在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズムなど		
12	グローバル社会と医療 2 (グループワーク)	1. 在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズムなどに関する現状を共有し、今後の課題などをディスカッションする。		
13	国際医療協力に必要な資質 とチーム医療	1. 国際医療協力に必要な資質とは 2. チーム医療の現状と課題		1 医学概論 C 医療と社会の状況 c チーム医療
14	国際医療協力への道	1. 国際保健医療関係の仕事や教育機関 ・ GO, NGO などの紹介 ・ 国際保健医療関係の大学院		
15	まとめ	1. 国際保健医療協力の現場や今自分ができる国際協力活動とは何かを考えて意見をまとめる (レポート)		

教科書	「国際保健医療学」日本国際保健医療学会 (杏林書院)
参考書	「バッシュ国際保健学講座」ポールバッシュ (じほう) 「国際保健・看護」丸山英二, 森口育子編 (弘文堂) 「Where There Is No Doctor」David Werner with Carol Thuman and Jane Maxwell 「国際保健医療のおしごと」中村安秀編 (南山堂)

授 業 科 目 名	機 器 分 析 化 学	単 位 認 定 者	石 垣 宏 尚
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義 15 コマ	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (ishigaki@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	臨床現場で使用されている分析機器の原理・構造を学び、検査に必要な基本的な知識の習得を目的とする。また機器のボタン操作に終わることなく、得られたデータから正確な結果を導けるようになる。		
学 習 到 達 目 標	1. 共通器具の原理、操作法、使用上の注意点が説明できる。 2. 分析機器の原理、操作法、解析の注意点が説明できる。 3. 分離分析機器の臨床検査への応用を学ぶ。		
関 連 科 目	臨床検査学総論、医用電子工学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	出席 20%、定期試験 80%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とし、100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。		
準 備 学 習 の 内 容	各回の授業内容について理解しておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	序論	患者の病態を客観的に認識する手段としての機器分析の在り方や臨床検査領域において測定がいかにより自動化されたかを解説する。	X章 医用工学概論 －検査総合管理學－ 1 検査機器学総説 A 手法と検査機器 B 取扱い上の注意と心構え
2	共通器具の原理・構造 1	化学容量器、秤量装置等の検査で使用する基本的な機器の目的、使用上の注意を解説する。	2 共通機械器具の原理・構造 A 化学容量器 B 天秤
3	共通器具の原理・構造 2	攪拌装置、恒温装置、保冷装置、滅菌装置の特徴や利用法を解説する。	E 攪拌装置 F 恒温装置 G 保冷装置 H 滅菌装置
4	分離分析装置 1	遠心分離装置、電気泳動装置の原理、特徴、利用法を解説する。	C 遠心分離装置 D 分離分析装置
5	分離分析装置 2	各種クロマト装置、HPLC装置の原理、特徴、利用法を解説する。	D 分離分析装置
6	測光装置	分光光度計、炎光光度計、原子吸光光度計、蛍光光度計の特徴、利用法を解説する。	I 測光装置
7	電気化学装置	pHメータ、血液ガス分析装置等の特徴、利用法を解説する。	K 電気化学装置
8	顕微鏡	各種顕微鏡の原理、操作法を解説する。	J 顕微鏡装置
9	生化学(1)	全自動生化学分析装置 1	IV章 臨床化学 3 生物化学分析の原理と方法 I 自動分析法
10	生化学(2)	全自動生化学分析装置 2	
11	血液(1)	自動血球計数装置	VI章 臨床血液学 5 血液に関する検査

回	講義題目	講義内容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
12	血液(2)	自動白血球分類装置, 自動凝固・線溶装置	A 自動血球計数器法
13	免疫	全自動免疫測定装置	
14	遺伝子	遺伝子抽出装置、遺伝子検出装置	IV章 臨床化学 17 遺伝子 E 遺伝子解析法
15	一般	全自動尿中有形成分分析装置	I 章 臨床検査総論 —生物化学分析検査学— 1 臨床検査の意義 C 尿沈潜検査

教科書	臨床検査学講座 検査機器総論 (医歯薬出版)
参考書	必要に応じて参考資料を配布する。

授 業 科 目 名	医 動 物 学	単 位 認 定 者	佐 藤 友 香
対 象 学 年	第 1 学 年	学 期	後 期
単 位 数	2 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修 ・ 選 択	必 修

指 導 方 法	講義形式、スライドや資料を使用する	オ フ ィ ス ・ ア ワ ー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (y-satou@paz.ac.jp)。
科 目 の 目 的	医動物学(Medical zoology)は、人体の健康に病害をあたえる動物を対象とした学問分野である。それらの動物の分類、形態、生活史、病害、診断法、予防法などの解説を行い、臨床検査技師として必要な知識を身につけることを目的とする。		
学 習 到 達 目 標	人体に関連する寄生虫の分類、形態、生活史、病害、診断法、予防法などを学習する。 1. 寄生虫の分類、生活史を理解することができる。 2. 寄生虫の虫卵の鑑別ができる。 3. 人畜共通寄生虫について理解できる。 4. 寄生虫の鑑別に適した検査方法や、サンプルの保存法、標本の作製方法を理解する。		
関 連 科 目	免疫学、微生物学、病原生物学		
成 績 評 価 方 法 ・ 基 準	定期試験【90%】、出席点など【10%】		
準 備 学 習 の 内 容	前回の授業の復習をしておくこと。		

回	講 義 題 目	講 義 内 容	国家試験出題基準 (臨床検査技師)
1	医動物学総論	寄生虫学の基礎知識	I 章 臨床検査総論 －形態検査学－ 1 寄生虫学 A 寄生虫の分布と疫学
2	原虫類(1)	赤痢アメーバなどの形態、生活史、病害、検査法について	B 寄生虫の形態と生活史
3	原虫類(2)	ランブル鞭毛虫などの形態、生活史、病害、検査法について	C 病害と症状
4	原虫類(3)	マラリアなどの形態、生活史、病害、検査法について	D 線虫類
5	線虫類(1)	回虫、アニサキスなどの形態、生活史、病害、検査法について	E 吸虫類
6	線虫類(2)	蟯虫、鉤虫などの形態、生活史、病害、検査法について	F 条虫類
7	線虫類(3)	旋毛虫、糸状虫などの形態、生活史、病害、検査法について	G 原虫類
8	吸虫類(1)	横川吸虫、肝吸虫などの形態、生活史、病害、検査法について	H 衛生動物
9	吸虫類(2)	肺吸虫類などの形態、生活史、病害、検査法について	
10	吸虫類(3)	住血吸虫類などの形態、生活史、病害、検査法について	2 寄生虫検査法
11	条虫類(1)	裂頭条虫類などの形態、生活史、病害、検査法について	A 検査材料の採取と注意事項
12	条虫類(2)	有鉤条虫、無鉤条虫などの形態、生活史、病害、検査法について	B 糞便寄生虫検査法
13	条虫類(3)	多包条虫、単包条虫などの形態、生活史、病害、検査法について	C 血液寄生虫検査法
14	衛生動物(1)	ダニ類などの形態、生活史、病害、検査法について	D その他の寄生虫検査法
15	衛生動物(2)	蚊などの形態、生活史、病害、検査法について	寄生虫検査の評価 A 検査結果の評価

教 科 書	「臨床検査技術学医動物学」 竹内勤 (医学書院)
参 考 書	「図解人体寄生虫学 改訂8版」 吉田幸雄 (南山堂)